

奨学金に関するアンケート調査

結果報告書

(2021年11～12月調査)



一般社団法人 滋賀県労働者福祉協議会

(滋賀県労福協)

奨学金に関するアンケート調査結果の概要

一般社団法人 滋賀県労働者福祉協議会

I. 調査の実施概要

1. 調査の目的

2021年現在、大学の学費が高騰し家計収入も減少する傾向にあるなか、コロナ禍が追い打ちをかけ、学生アルバイトの減少等により、学費が賄えず「学びたくても学べない」学生が増えている。また、卒業後に数百万もの奨学金を返還しなければならず、多くの人が必要な不安を抱えている。将来的な高等教育の無償化や無理のない奨学金返還制度への改善につなげていくためにも、少しでも不公平感をなくし、みんなが負担軽減を実感できる政策支援が喫緊の課題である。

このため中央労福協では、奨学金返済者や保護者の教育費の負担を軽減する税制支援（減税）の実現をめざし、「教育費や奨学金返済の負担を軽減する税制支援を求めるオンライン署名」などの取り組みを全国で展開している。この取り組みの一環として、滋賀県労福協として、奨学金の利用実態や問題点を明らかにし、政策・制度の改善を目的にアンケートを実施した。

2. 調査の期間

2021年11月～12月

3. 調査方法

自記入式のアンケート調査（紙による調査票とWebによる調査の併用）、調査票は滋賀県労協が作成し、連合滋賀および各地区労福協を通じて紙による調査票を配布するとともに滋賀県労福協のホームページでもWebによる調査を実施した。

4. 調査対象と回収状況

調査は、連合滋賀および各地区労福協に加盟している組合員を対象とし、回収数は、1,749件であった。

5. 回答者の内訳

回答者の性別は、男性が79.4%(1,389人)、女性が20.2%(353人)、答えない・無回答が0.4%(7人)である。

年齢構成は、20歳代が27.4%(480人)、30歳代が28.4%(497人)、40歳代が28.0%(490人)、50歳代が14.6%(255人)、60歳代が1.0%(18人)、70歳代が0.1%(2人)、無回答が0.4%(7人)で、平均年齢は38.1歳となっている。

回答者のうち奨学金を利用した人が34.2%(599人)、利用しなかった人が65.8%(1,150人)となっている。

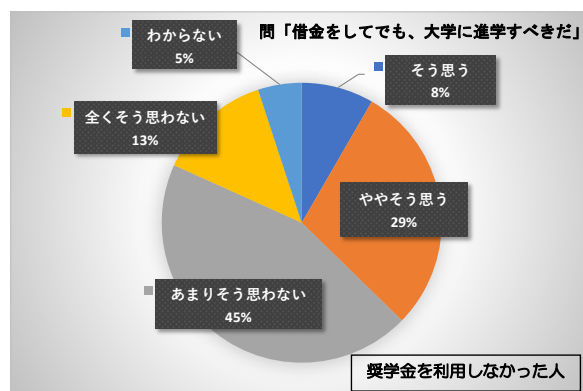
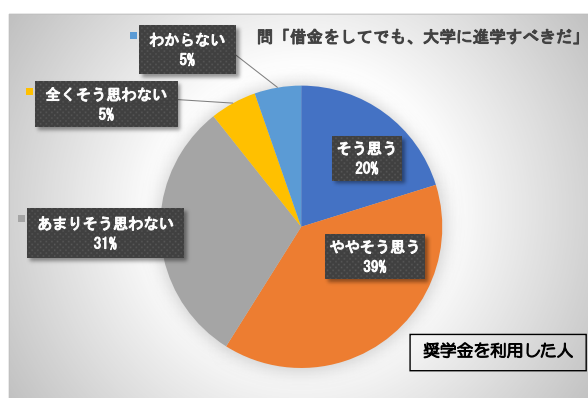
Ⅱ. 調査結果のポイント

「借金をしてでも大学に進学すべきだ」

奨学金を利用した人：「そう思う」と「ややそう思う」が59%

奨学金を利用しなかった人：「そう思う」と「ややそう思う」が37%

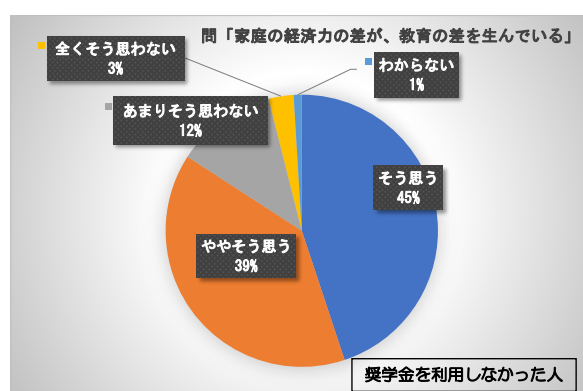
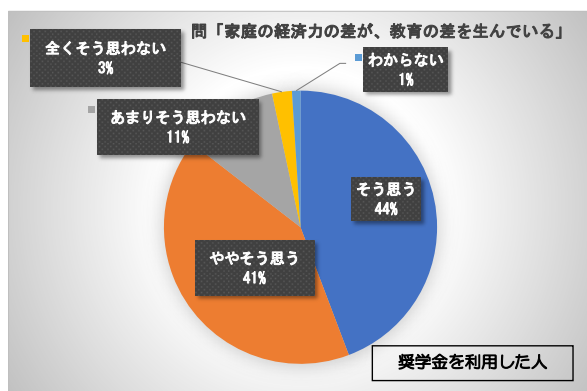
「借金をしてでも大学に進学すべきだ」の設問では、奨学金を利用した人では、「そう思う」が20%、「ややそう思う」が39%で合わせると59%を占めるのに対して、奨学金を利用しなかった人では、「そう思う」が8%、「ややそう思う」29%で合わせると37%にとどまり、奨学金の利用の有無によって意識の違いがあることが伺われる。



「家庭の経済力の差が、教育の差を生んでいる」

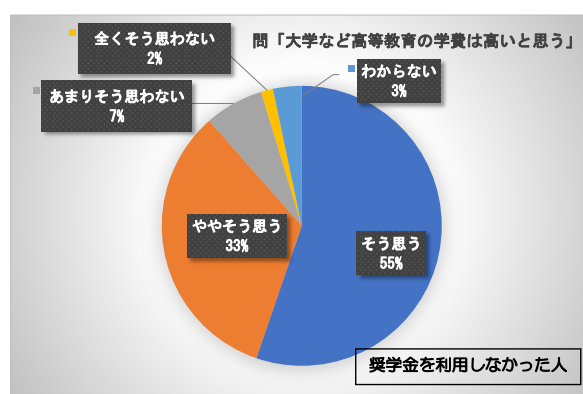
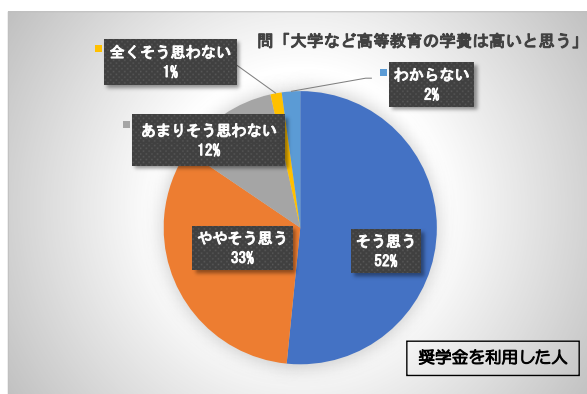
「そう思う」と「ややそう思う」が全体で85%を占める

「家庭の経済力の差が、教育の差を生んでいる」の設問では、奨学金を利用した人では、「そう思う」が44%、「ややそう思う」が41%で合わせると85%を占めている。一方、奨学金を利用しなかった人では、「そう思う」が45%、「ややそう思う」が39%で合わせると84%となっており、奨学金の利用の有無による差はなく、全体では85%の人が「家庭の経済力の差が、教育の差が生じている」と認識している。



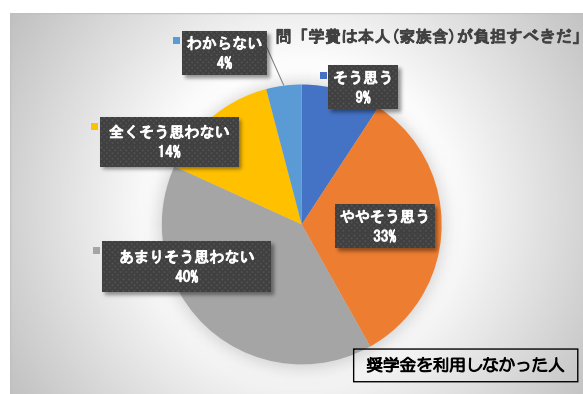
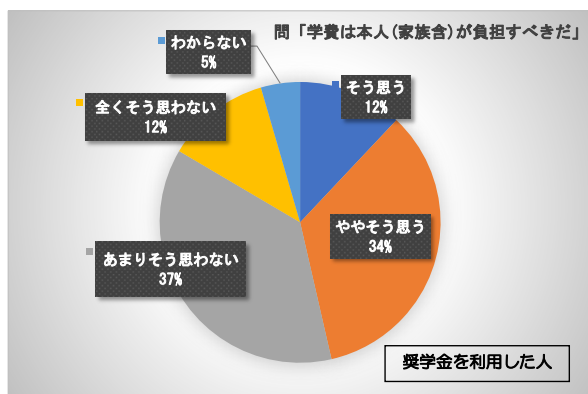
「大学など高等教育の学費は高いと思う」
 「そう思う」と「ややそう思う」が全体で87%を占める

「大学など高等教育の学費は高いと思う」の設問では、奨学金を利用した人では、「そう思う」が52%、「ややそう思う」が33%で合わせると85%を占めている。一方、奨学金を利用しなかった人では、「そう思う」が55%、「ややそう思う」が33%で合わせると88%となっており、奨学金の利用の有無による差はなく、全体では87%の人が「大学など高等教育の学費は高い」と感じている。



「大学など高等教育の学費は本人（家族含）が負担すべきだ」
 全体で「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」が53%で
 「そう思う」と「ややそう思う」の43%を9ポイント上回る

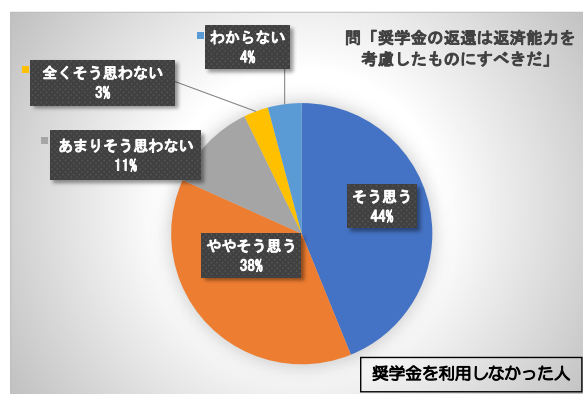
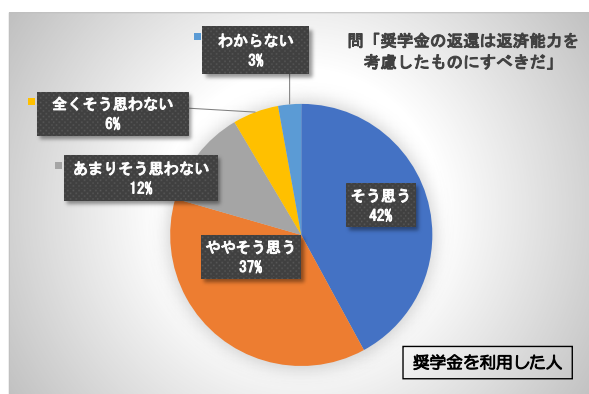
「大学など高等教育の学費は本人（家族含）が負担すべきだ」の設問では、奨学金を利用した人では、「そう思う」が12%、「ややそう思う」が34%で合わせると46%となるのに対して、「あまりそう思わない」が37%、「全くそう思わない」が12%で合わせると49%と、ほぼ拮抗した回答となっている。一方、奨学金を利用しなかった人では、「そう思う」が9%、「ややそう思う」が33%で合わせると42%となるのに対して、「あまりそう思わない」が40%、「全くそう思わない」が14%で合わせると54%となっている。全体では、「そう思う」が10%、「ややそう思う」が33%で合わせると43%となるのに対して、「あまりそう思わない」が39%、「全くそう思わない」が14%で合わせると53%となり、「そう思う」、「ややそう思う」を9ポイント上回っている。



「奨学金の返済は返済能力を考慮したものにすべきだ」
 「そう思う」と「ややそう思う」が全体で81%を占める

「奨学金の返済は返済能力を考慮したものにすべきだ」の設問では、奨学金を利用した人では、「そう思う」が42%、「ややそう思う」が37%で合わせると79%を占める。

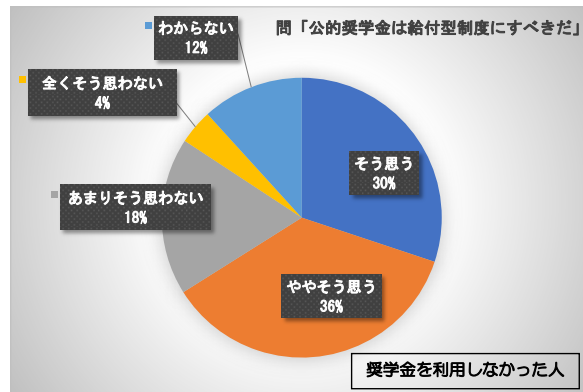
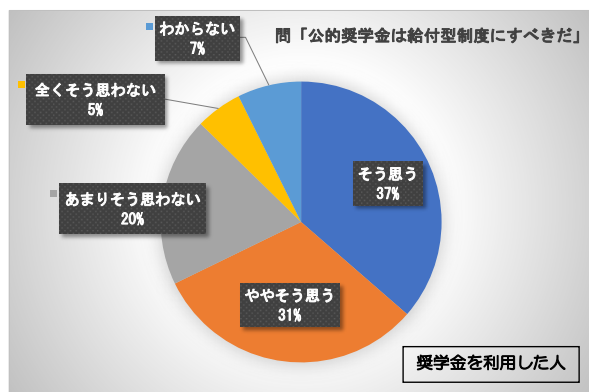
一方、利用しなかった人では、「そう思う」が44%、「ややそう思う」が38%で合わせると82%となっており、奨学金の利用の有無による差はなく、全体では81%の人が「奨学金の返済は返済能力を考慮したものにすべきだ」と考えている。



「公的奨学金は給付型にすべきだ」
 「そう思う」と「ややそう思う」が全体で2/3を占める

「公的奨学金は給付型にすべきだ」の設問では、奨学金を利用した人では、「そう思う」が37%、「ややそう思う」が31%で合わせると68%を占める。

一方、奨学金を利用しなかった人では、「そう思う」が30%、「ややそう思う」が36%で合わせると66%となっており、奨学金の利用の有無による差はなく、全体では66%と2/3の人が「公的奨学金は給付型にすべきだ」と考えている。

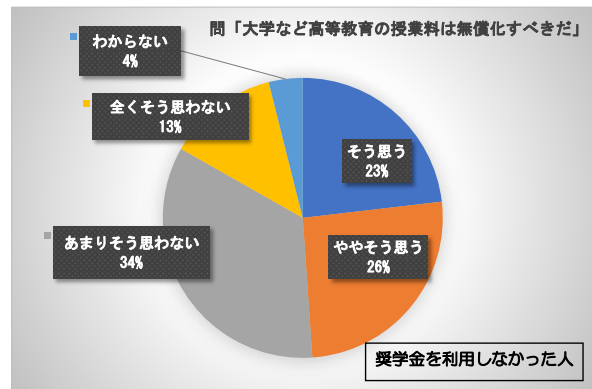
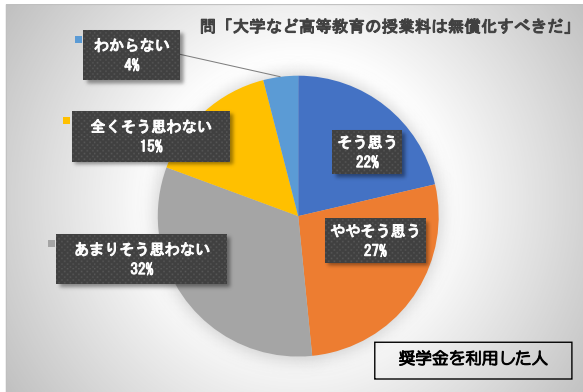


「大学などの高等教育の授業料は無償化すべきだ」

「そう思う」、「ややそう思う」と「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」が、ほぼ半数ずつで拮抗し、無償化については意見が分かれている

「大学などの高等教育の授業料は無償化すべきだ」の設問では、奨学金を利用した人では、「そう思う」が22%、「ややそう思う」が27%で合わせると49%となるのに対して、「あまりそう思わない」が32%、「全くそう思わない」が15%で合わせると47%と、ほぼ拮抗した回答となっている。

一方、奨学金を利用しなかった人では、「そう思う」が23%、「ややそう思う」が26%で合わせると49%となるのに対して、「あまりそう思わない」が34%、「全くそう思わない」が13%で合わせると47%と奨学金の利用の有無による差はなく、全体では、「そう思う」が23%、「ややそう思う」が26%で合わせると49%となるのに対して、「あまりそう思わない」が34%、「全くそう思わない」が14%で合わせると48%となり、ほぼ半数ずつで拮抗し、無償化については意見が分かれている。



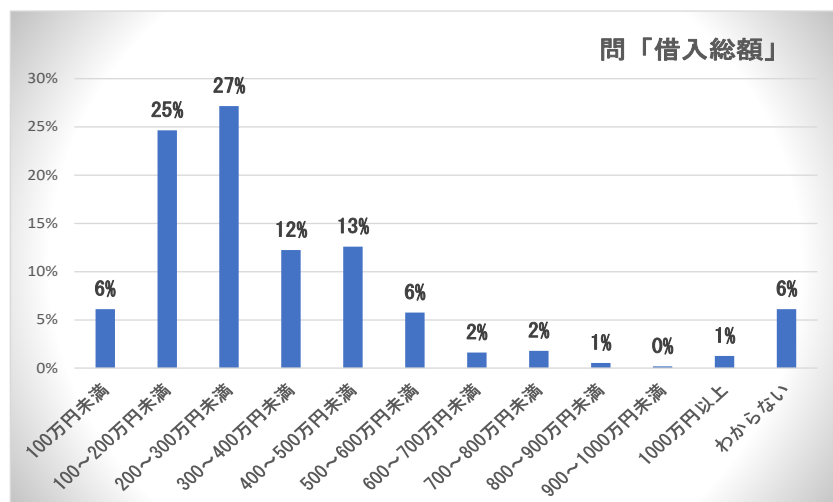
奨学金制度利用の状況

「借入総額」

200～300万円が27%で最も多く、次いで100～200万円が25%

奨学金の借入総額を見ると、最も多いのが200～300万円が27%、次いで100～200万円が25%、400～500万円が13%、300～400万円が12%、500～600万円6%の順となっている。

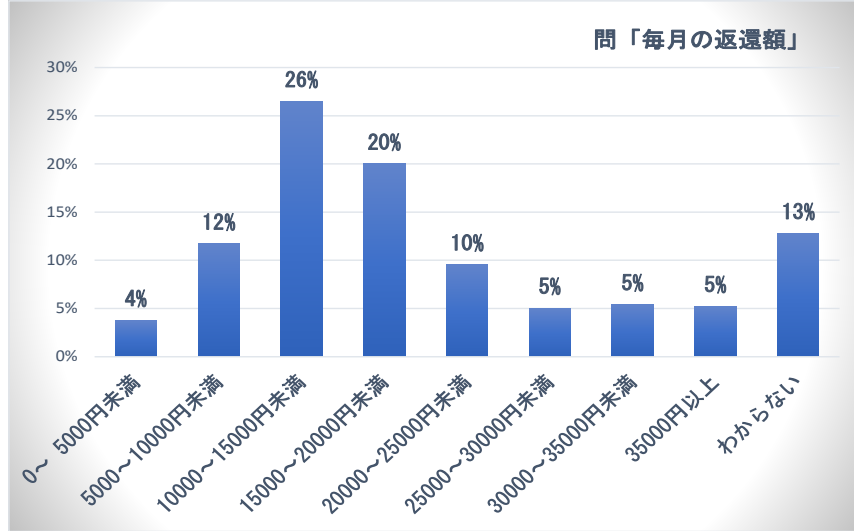
500万円以上という人が10%以上あり、中には1,000万円以上という回答も1%あった。



「毎月の返還額」

1万円～1万5千円が26%で最も多く、次いで1万5千円～2万円が20%

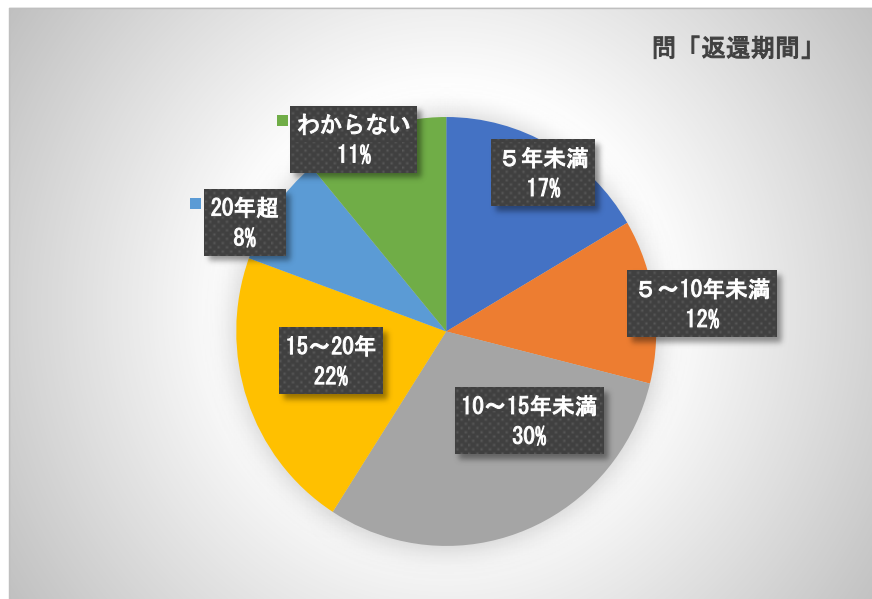
毎月の返還額を見ると、最も多いのが1万円～1万5千円が26%、次いで1万5千円～2万円が20%、5千円～1万円が12%、2万円～2万5千円が10%、の順となっている。3万円以上と答えた人も10%あった。なお、「わからない」という回答が13%あった。



「返還期間」

10～15年が30%で最も多く、次いで15～20年が22%

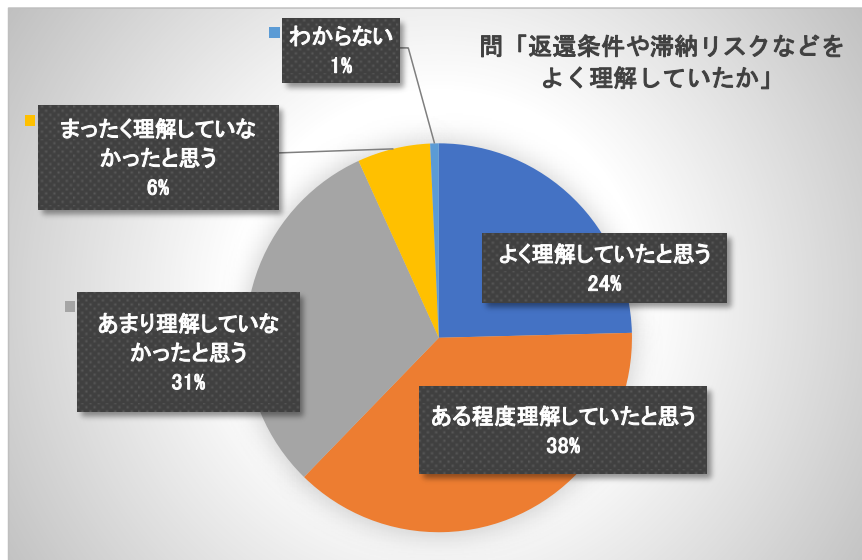
奨学金の返還期間を見ると、最も多いのが10年～15年で30%、次いで15年～20年が22%、5年～10年が12%、20年超が8%の順となっている。なお、「わからない」という回答が11%あった。



「返還条件や滞納リスクなどの理解度」

「あまり理解していなかった」、「まったく理解していなかった」を合わせて37%

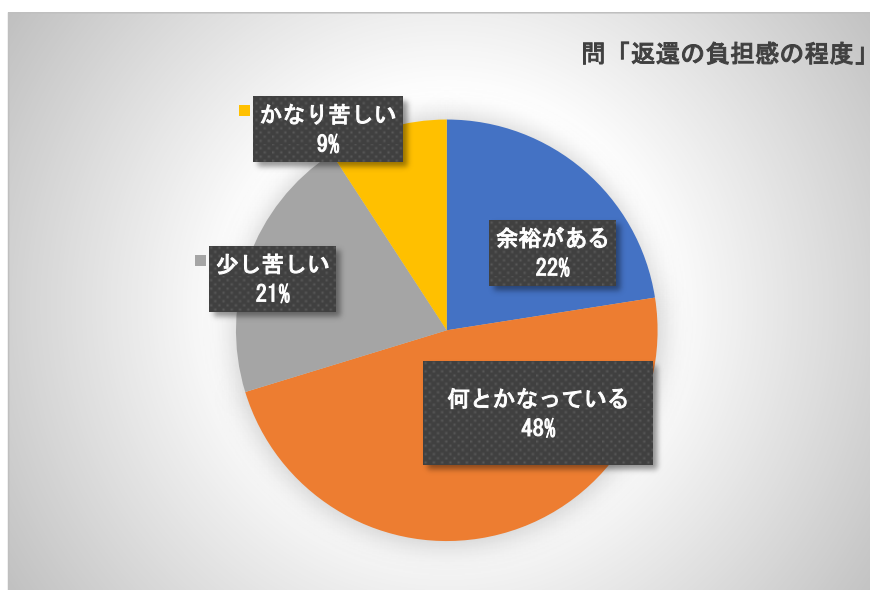
返還条件や滞納リスクなどの理解度を見ると、「よく理解していた」が24%、「ある程度理解していた」が38%、「あまり理解していなかった」が31%、「まったく理解していなかった」が6%、「わからない」が1%となっている。



「返還の負担感の程度」

「少し苦しい」、「かなり苦しい」を合わせて30%

返還の負担感はどの程度ありかを見ると、「余裕がある」が22%、「何とかなっている」で48%、「少し苦しい」が21%、「かなり苦しい」が9%となっており、30%の人が「苦しい」と感じている。



奨学金制度などに対する意見・考え方など（自由筆記）

奨学金を利用した人	
1	ご苦労様です アンケートホームバッチリです
2	日本学生支援機構の奨学金制度があったおかげで大学院まで進学・卒業できたため奨学金を借りられたことはありがたかった。しかし、諸外国では大学の学費が無償であったり、給付型奨学金制度が充実している国が多い中で日本にはそういった制度が非常に少ないことを残念に思う。貧困の連鎖という言葉をよく聞くが、貸与型奨学金制度が奨学金の大半を占めていることも貧困の連鎖をにつながっていると感じる。貧困世帯に生まれた人はそもそも進学率が低いし、なんとか大学を卒業できても社会に出た段階で数百万円の借金を背負い、経済面で頼れる親もいないという現状に非常に不公平感を感じる。貧困世帯の出身者もそうでない人も、同じキャリアなら同じ経済状況の人生を送れるように給付型奨学金制度や学費の減額等の制度を充実させてほしい。
3	回答の補足になりますが、最終成績によって返還免除の対象になりましたため、奨学金制度は利用していましたが返済はしていません。
4	学費が高すぎる。
5	繰り越し返済をもっとやりやすく、わかりやすくしてほしい
6	お金に左右されず、希望するものが学べる制度に
7	無償が一番だと考えるが、一旦本人が払う形でないと前向きにならないような気がします。
8	就職できる前提での考えを改めるべき。
9	正社員として働ければ、月に 10000 円くらいは楽に返済できると思ったが、安月給のブラック企業だったので、なかなか甘かったように思う。滞納はしてないが、しんどい時もあった。いまは非正規も増えていて、返済に困る人も多いのではなか。物価変動とかあるにせよ、少なくとも無利子型でないと今後は色々と難しくなると思う。
10	大学の学費負担低減、無償化については、対象の大学を絞って実施すべきであると考えている。どのような大学・学生であっても無条件に公的な支援を行い、そのための負担を負うことには納得感がない。
11	給付型の奨学金を増やすべきだと思う。貸与型であってもせめて無利子の奨学金を申し込める基準を変えないと所謂中間層の家庭にとっては大きな負担となっているのではないのでしょうか。
12	家庭の事情に関わらず高等教育を受ける選択ができるように、奨学金制度は存在しており、多少のリスクを犯してまで高等教育を受けるのか否かは判断すべきだと思う。

13	一斉に無償とか、困窮者の救済という議論ではなく、優秀な者が教育を受けられないことが全体として損失であるので、選抜したりするべき。誰にでも高等教育は受けられるという事は間違っている。
14	あくまでも借金なので、返済することが当然であると思います。負担軽減の観点として無償化・給付という考え方でなく、税負担の軽減などの切り口でも検討すべきではと思います。 (昔の自分を現在扶養しているという考え方もあると思います。)
15	せめて第二種はなくすべきだと思う
16	親世代と比べて、学費の高騰が著しいです。 給付型の奨学金もあればよいですが、せめて学生でも払える程度の学費に戻して欲しいです。 大卒でないと企業への就職も難しいので、借金をしてでも大学に行くしかない状況です。 日本の博士課程の学生にはお金が払われていません。海外の大学はお金を払っており、国力の差が開いていってしまうと思います。 優秀な人財が大学で研究をしようとは思えない待遇です。
17	頑張っている子供たちがきちんと報われる制度を確立してほしい。誰もが無闇に借りられるのではなく、能力傾斜(運動、学力なんでもいいが)をつけることで、返済能力に差が出ることは少なくなるのでは？
18	学部での奨学金の貸与額の上限はもう少し高い金額のものがあったら良いと思う。
19	大学院生は給料をもらって研究できるようにしてほしい
20	確かに給付型の奨学金は魅力だが、それは世帯の返済能力の有無で適用を判断すべきだと思う。 返済能力が十分にある世帯の学生まで給付型にする必要性は感じない。 「奨学金を借りてまで大学にいる」という思いは在学中の勉学への姿勢とその後の就労への姿勢に高い積極性をもたらさずと思う。
21	奨学金無償化となる人数が少ない。また、成績優秀者は無償化になると聞いていたが、その基準が不明確であるため、在学中ストレスだった。
22	返済免除制度をより充実して欲しい。
23	返還義務のない奨学金の枠が増えるとなお良い
24	もう少し給付型の奨学金制度のハードルを下げるべきだと思う。

25	<p>選択と集中すべき。</p> <p>難関大学理系(特に修士、博士)は高額給付型、それ以外は貸与型など。</p> <p>国の強さの指標は科学技術力だということは世界で常識。</p> <p>日本は理系をないがしろにしすぎている。</p> <p>文系に金つかっても、何の得もなく、むしろ逆効果(日本学術会議がよい例)</p> <p>再び強い日本を取り戻すには、理系にしっかりお金を使う以外の選択肢が逆にわからない。</p>
26	返済免除できる方法・条件を増やしてほしい(返済免除してほしい)
27	<p>大学は一人暮らしする人も多く、家計への金額負担が非常に大きいので、奨学金自体はいい制度でこれからも続いてほしい。全額無償はやり過ぎな気がするが、一部負担することは検討いただけるとありがたいと考える。</p>
28	<p>教育こそ重要な先行投資であり、学びたいと考えている若者が借金をせずに学べる法制度を構築してほしい。</p>
29	<p>奨学金はあくまで借金であることを前提として、リスク等の説明を十分にすべきと考える。</p>
30	<p>高等教育は自身が希望して受けるものであるため、給付型ではなく返済型が好ましいと思う。ただし、個々の返済能力に応じて返済期限や利子等の負担が小さくなるように配慮したほうが良いと感じる。</p>
31	<p>学業に応じた返済免除などの枠を増やしてほしい。特許や論文などを書いた人は学校としても評価できる。また、給付型も必要だが、良い成績が続かないと打ち切りがあるなど厳しくしてもよい。</p>
32	<p>学力と意欲のある方には、選抜制等でしっかりと学費補償できる制度が必要に思う。</p>
33	<p>基本的に今の奨学金制度は学生ローンと変わらず、借りると社会人になっていきなり、借金を背負って働くことになり、初任給程度の収入ではかなり負担になると思う。国もしくは内定先の企業で負担をするのが良いと考える。但し、奨学金を受ける人全員にこの制度を適用するのではなく、ある程度、学力のある学生がもらえるような仕組み(試験などで審査)にするべきと考える。</p> <p>今の奨学金を給付型でもらえる定員数よりははるかに多い定員数にするべきである。</p>
34	<p>当時は夜勤などで手当でも多かったのですが、親の勧めで、まとまったところで一気に返済してしまいましたが、その後に家族の病気等でまとまったお金がなくなったこともあり一括で返済したことをやや後悔しました。2種の返済がやはり負担に感じます。</p>
35	<p>特に技術系就職を目指す学生にとっては院進学が必須であり、さらに研究で時間的余裕も少ないため、バイトで学費・生活費を補うことも難しく、時間も経済的余裕も無いのが現状と思う。将来日本を背負って立つ若者が経済的理由から院進学を諦め、公務員などを</p>

	受験する傾向もあるため、日本の科学的進歩を目指すのであれば高等教育の無償化(特に大学院の学費免除や給付型奨学金制度)の拡充を行ってほしい。
36	教育に対する国の意識は非常に低いと言わざるを得ないと考えている。仕事ではやりがい搾取が問題になっているが大学の教育も同様の認識をもっている人が多いと考える。人を有能に、有用にするために教育は不可欠であり、学ぶ場をつくるのは大人にしかできない。現状の奨学金の制度、高校、大学にかかる資金は高校生、大学生の将来の可能性を狭めて潰していると言っても過言ではないと考えている。在学中などその場限りのお金でなく、長いスパンでの教育の補助が必要であると考えている。
37	学力、能力に見合った奨学金給付制度がもっとあってもよいと思う。 特に博士課程に進学したい学生に対して、奨学金の給付制度がもっとあっても良い。
38	奨学金返済部分は税控除対象にして欲しい
39	アンケートに記載したとおり、ヨーロッパ諸国にも習って大学の学費を無料にすべきと思う。
40	奨学金制度は成績優秀や低収入であれば無利子や変換不要となるため、本当に必要なのは頑張れば良い。遊ぶだけの学生にまで配慮する必要は無いと思うので、現状のままで十分と思う
41	本気で学ぶ学生に対しては給付できれば良いが、本当に必要とされているかは慎重に判断すべきであり、その判断が難しい課題と思う。
42	成績に応じて優秀な人は奨学金を減らすなどの傾斜をつけてよいと思う。
43	成果報告で返済免除などの制度もあるが、給付前提の奨学金が少なすぎると感じる。勉学・研究に勤しむことでバイトの時間は相対的に減るため収入が得られず苦悩するにも関わらず、奨学金が借金としてのしかかることは心理的に大きな負担になると思う(家族含め金銭的余裕が無い場合は特に)。 実際に熱意ある友人は自らのやりたい研究を諦め、学士で就職することを選んだのを目の当たりにしているため、奨学金のあり方を考え直した方が良いのではないかと感じる。
44	学費の高い私立大学での奨学金制度拡充を検討して欲しい。前途有望な学生が学費だけで進学する大学を選ばない社会になって欲しいと思う。
45	優秀な学生には給付型の奨学金もよいと思う。 やたらむやみに給付型にすると勉強する気のない学生にまで無駄な税金を使うことになる。 したがって、一定の試験に突破した学生には給付型の奨学金が得られる権利を付与するというようなハードルは設けるべきと考える。 また、そのハードルは親の所得制限は無関係にしてほしい。 親の所得に関係なく優秀な学生には積極的に給付型というシステムにすることを望む。

46	試験などによりある一定の条件の能力と経済力をクリアした場合は返済なしになる奨学金制度をもう少し充実させるべき
47	上の子どもが専門学校を卒業して就職し返済が始まったと思ったら、下の子が専門学校に来年から通うのでまた奨学金の申し込みをした。 年間 150 万円程の学費が、せめて半額にならないものかと考えている。*是非、無料化を早期に実現して欲しいです。
48	1. 設問が悪い。出題者に反省を求めたい。借金してでも高等教育を受けさせるかどうかは高等教育を受ける者の意思による。選択肢の設定が悪い。 2. 猫も杓子も高等教育を受けるのが良いとは思わないので、学費負担はある程度その意思決定に正負どちらにせよバイアスをかけている側面もあると思う。ただ高等教育を受ける意思もありやる気もあり能力もある子が経済的な事情だけで断念するようなことにならないための仕掛けはあるべき。 3. 高等教育の教育費負担というと大学がメインで語られていると思うが、専門学校についてもしっかりと議論してほしい。医療系、士業系、IT なんかは比較的社会の期待値も高いのでは？
49	返せる見込みのある人が借りていい制度だと思います。
50	社会人になってから若いうちに結婚や引っ越しを計画するうえで、奨学金の返済は負担になりました。稼いだお金の循環につながりませんし、晩婚化につながると思います。学費が下がる、返済の一部を免除してもらえるなど、経済的な負担を軽減してあげたいと感じます。一方で、返したお金が次の学生の奨学金になるという仕組みは理解できますし、自分で学費を負担することは学びへの意欲につながっていた側面もありました。
51	経済力の低い家庭への給付型奨学金を拡充するべき。
52	困っている次の人のためにも、働いて、自分が借りた金額はしっかりと返すべきである。
53	なぜ有利子である必要があるのか疑問です。
54	給付型公的奨学金の導入や授業料無償化には部分的に賛成であるが、一律の適用や無償化には反対です。一定以上の成績を修めることなどを条件にしないと、税金が財源から出るのであれば、納得を得にくいと思う。何となくではなく、一生懸命に努力し、相応の結果を出した学生に報いるべきであり、一律の対応は財源を圧迫すると感じる。
55	大学に行きたい人がお金の問題で行けない現実が問題となっている場合、対応が必要だと思いますが、大学で何を学んでいきたいか明確ではない場合に奨学金や無償化などを勧めて良いか疑問もあります。
56	早く返済した時の返還金のことを知らなかったので、教えてほしい
57	初任給に比べて大学の費用は膨らみすぎたと感じる。初任給上がりませんか。
58	就職においても、大卒か高卒かで処遇差があることを踏まえると、行けるのであれば大学に行った方がいいのかとも思う。そのために活用できる奨学金制度ではあるが、実際は本

	人が初めて背負う借金に変わらない。コロナ禍で収入が減り返済に苦勞することもあるはず。財源に限りはあるが、無利子枠や給付枠をもっと拡充してもらえないかと思う。
59	特になし
60	特になし
61	奨学金支給は、支給基準を決めて、全額給付されるべきだと思う。
62	医学部を含めた理系学部については、学費を公的な部分で対応する額を増やすべきと考えております。(特に理系の人材育成が今後の日本に必要と考えます)
63	給付型奨学金の割合を増やしてほしい！ 一部の人が返還免除になるが基準がわからない
64	奨学金は借金であり、返済の義務があることを認識したうえで貸与を受けるものだとして認識している。世間で問題になっている返還に関する問題は特別な場合を除き当人のリスク管理不足によるものであると感じている。また、公的奨学金に関しても返還免除制度やごく少数ではあるが給付型の奨学金もあることから、返還に関する問題は貸与人の調査不足および認識問題であると強く感じる。
65	奨学金の返還にこまる程度の大学は見直す必要がある。 子供の母数が少ない現在、未来においては大学の数を管理すべきである。 又は、奨学金に合う報酬を得られる仕事に就く責務を大学に負わすのも1つかと考える。 サービス業の一種なので成果を学生に返すべき、一方で病気等のセーフティネットは充実すべきである。
66	優秀な学生なのに家の事情で就学をあきらめる事がないようにしてほしい。
67	学生に奨学金や学費に関する制度理解を向上させるべき。 成績優秀者は返済額、授業料軽減などの制度があることなど。
68	(国が認定した)一定のレベルを満たした大学では無利子もしくは返済額を軽減して奨学金を貸与・給付するのが良い。
69	奨学金を借りて現状の社会情勢で就活を失敗すると一気に返済が厳しくなるとおもいました！
70	<ul style="list-style-type: none"> ・貸与は借金であると言うことの十分なアピールは必要。 ・返済の負担は感じなかったが、返済がなかったらその数百万円で車を買えたり、住宅ローンが少なくなったり、違った生活を送れたと思う。 ・有利子の奨学金は廃止すべき。学生相手のサラ金と変わらない。 ・学費の全面無償化には反対。相応の負担をさせるべき。進学できない者と受ける恩恵の格差が広がる。進学した者もありがたみを感じにくい。 ・卒業生からの寄付金で基金を創設するなど、継続的な仕組み作りが必要。
71	ニュースなどで返せないと言っている人は借りすぎです。また、院まで行きすぎ。学費ではなく家族の生活費にしてると思います。

	低金利なので生活が苦しくなる程返してる方がおかしい。
72	貸与型ではなく給付型への転換を進めて行くべきだと思う。
73	経済格差が能力や才能の発展に影響を与えてはならない。
74	給付型をもっと増やすべきで、ハードルも下げたほうが良い
75	奨学金は給付型のみとし、成績に一定の水準を求める。 それ以外は教育ローンとすべきではないか？借金で借りたものは返済するのが基本、返済できる見込みがなければ、借りてはならない。奨学金という名前でローンであることがばかされてしまう。家もオーバーローンになれば、銀行から担保として取られる。それと同じ話だ。
76	現在の大学等修学支援制度は低所得者層に限定されている部分があり、こういった支援を受けられない人やすでに奨学金を返済している人から一定の不満が出ていることは理解するが、今後は中間所得層を含めた教育費負担軽減に向けて、政府・与党中心に取り組みが進められているところであり、制度の更なる改善に期待したい。また、奨学金返済にあたっては、勤務先企業が社員に代わって奨学金を日本学生支援機構に直接返済できる「代理返還」制度が取り入れられるなど、社会全体で支援する環境も整ってきている。そういったものを含め、奨学金制度がより良いものとなっていくことを願いたい。
77	大学に進学した結果、就職等で効果を発揮した者には減額などの手当てをしてもいいと思う。
78	借金ありき学生生活はいかがなものかと思います。
79	教育は無償化が親の所得によらないのでわかりやすい方向と思う。奨学金も私立との差分で済む
80	借りずに済むのであれば、借りない方が良い
81	全て無利子にしてほしい
82	約一年で奨学金制度を停止、一括返済したが、大卒後に返還するのはかなり苦しいと思う。
83	今以上に公費を使う必要はない。大学に行きたいなら将来の自分に借金すればよい。貧困家庭から塾や予備校に一切行かず、現役で旧帝大に入った人は身の回りに沢山いた。むしろ学生寮はそんな人の方が多い
84	3人兄妹でしたが親に金銭的余裕が無かったため3人とも奨学金を利用して進学し、現在はそれぞれに大変な思いをしながら返還中です。私自身1000万近い「借金」を負うとは思っておらず、借入時の教育や説明が不十分だったのかなと思います。
85	給付型とは言わずともせめて無利子のみにすべきと考える。
86	国公立大学へ進学したため、借入額が少なく済んだが、私立大学へ進学していたなら、借入額が多くなり返還が苦しかった。(姉が私大だったので苦しいのを見てきたので・・・)

87	貸与型については返還をする、年月が多くかなりの負担になると思います。無利子は前提ですが。
88	平等に教育が受けられる制度に変わってほしいです。
89	ヨーロッパのように無償化推進して欲しい
90	特になし
91	経済的な問題で、高等教育が受けられないということはあってはならないと思うので、奨学金の拡充はしていくべきだと思う。ただ、就職先によっては返還が厳しい方もいると思うので、就職先の給料による返還率などが選べるものがあれば良いと思う。
92	全て給付型にとは思わないが、お金の余裕があれば選択肢はかなり増えるとは思う。
93	奨学金制度のおかげで大学に進学でき、大手企業への就職ができ返済もできています。しかし、就職がうまくできなかった場合を考えると恐ろしくなります。元とえば自身が借りたものなので返済は当然ですが、教育にもっと国が加担し、進学をあきらめた優秀な若者が救えるなら日本のためになるかもしれないと考えると、ハードルを下げる価値もあるかと思います。
94	奨学金があったので、私立の大学に通えて、今があると思っています。制度は必要だと思いますが、そもそもの学費の負担が減ると、もっといいと思います。
95	全額でなくても、公的な給付はあった方がよいと思う。
96	無利子、給付型がもっと普及しても良いと思う。 奨学金の返還額は若い時は低く、年を取れば高くしても良いと思う。
97	大学時代、バイト代だけでは苦しかったので奨学金制度を利用しました。 借金を軽減させる為、大学院ではバイトを増やし、なんとかしていたので、学業に集中できる環境が少しでも改善することに期待しています。
98	私立の学費はかなり高額だと思う。当時、そこまで知識がなかったが、どうしても大学に行きたかったので奨学金を利用したが今になってみると負担も大きくリスクが高いと思う。今の大学へ行って当たり前という世の中に対し、大学の学費も多くの人に通えるように無償化あるいはある程度国が負担すべきだと思う。
99	大学に行きたかったが、奨学金を返すことを考えると厳しかったので専門学校にした。もう少し返還が楽になればと思う。
100	学力・能力のある人物が進学する場合給付型が望ましい。しかし学力・能力のない人物を受け入れている大学もある。入学のための学力基準を厳しくすることが先決だと思う。
101	奨学金をすべて無利子にしてほしいと思います。
102	憲法第26条に即した奨学金制度にすべきだと考えます。
103	大学の無償化は教育・研究の質の低下を招く可能性が大きいと考え、反対です。 奨学金の全てを給付型にすると、支給額や対象者が少なくなる可能性があるため、消極的反対です。給付型を増やすことは良いことだと思いますが、貸与型も必要なも

	のだと思います。
104	今でも制度は沢山あり、選択肢も多かったのであまり問題は感じません。
105	大学の学費より、小~高校での塾の方が圧倒的に負担が大きい。 塾費用を下げる活動をお願いしたい。奨学金は自己投資であり、社会人としてある程度の給料を得るための活力になると考えるため、貸与で問題ない。
106	高額な学費の上、通学費や下宿費など、金銭負担が大きすぎる。 奨学金は、無利子や給付の間口をもっと広げるべきだ。
107	「給付型奨学金の対象範囲を広げる」もしくは「国公立大学の学費を削減」していただけたら、奨学金を借りていなかったで、上記2点の実現をお願いしたいと思います。
108	私は幸いにも正社員として就職できたので、返還できたが、非正規社員でない人が返還に苦しむニュース等も知っているので、もっと学ぶことに意欲のある若い人に対しては給付型の奨学金が増えればいいと思う。
109	大学で積極的に借りることをすすめられていたため、奨学金を必要としていない人も借りていた印象がありました。高校などでもっと無利子の奨学金があることを周知してもらえば、お金を理由に進学をあきらめる人が減って良いのではないかと思います。
110	貸与型を奨学金と呼ぶことに違和感あり。
111	ぜひ給付型のものをつくってほしいです
112	返却しない人が多いと聞いていますが、本当ですか。
113	学費は個人負担として、バイトせずとも生活できレベルの奨学金（給付）が必要では。
114	無利子なのは助かるが、やはり借金であることにはかわりないので、もっと補助などがあれば助かる
115	返還不要の奨学金の対象者がより増えるとよい
116	自分で進むという意志があり、かつ、経済的に余裕のない人にはもっと無利子で貸すべき（対象者が少ないように思う）
117	少額で良いので給付型が増えれば良いと思う。 返還する場合でも無利子とした方がよいと思う 有利子はなくす方向で
118	詳細はよく分かってないが、世帯の収入に応じて給付型の奨学金を支給できたら良いと思う。収入が少ない世帯に給付を手厚くすべきという意味。
119	意欲と能力のある学生が、教育費の高さを理由に望む教育を受けられなければ問題だが、一方で明確な目的もなく、とりあえずで大学に進学するのも健全とは言い難いと思う。高等教育の無償化は、一律ではなく一定の能力要件を設け、中卒でも高卒でもそれに見合った職につけるようにすることが重要と考える。
120	成績優秀な方が大学でも勉強できるような制度はもっと強化すべきだと思う。

121	大学に行く意義を見つけられる人が行けばいい。
122	貸してもらえて助かった。借金なのでしっかり返します。
123	日本の賃金が上昇せず、ゆらい日本のため、無利子や減額などの制度をもっと増やす方が 良いと考える。
124	無利子はともかく、有利子は以後の生活に負担が出る恐れがある。大学進学がベーシック になりつつある中、貧富の拡大などで奨学金を利用せざるを得ない者も多いと考えられ ます。将来の不安要素になるという意味では双方変わらないが、、、。国として未来ある若 者を支援すべき（その他予算を見直してここに回す）
125	全て無利子にした方が良い
126	在籍時の金利と卒業後の金利と低くなったので負担は減ったが、40歳まで奨学金を返し ていくのは苦しい
127	制度を利用した方が負担が多くかからないよういろいろ選択できたらと思います 私の時は、10年以内に必ず返還が必要でした。
128	自分は学費の減免があったことで、返還可能な金額に収まったと思います。家庭の状況で 進学をあきらめる人が一人でも減る制度になればいいなと思います。
129	学費は全て無償化すべき。奨学金も今から全て国が払ってあげるべき。 日本はおかしい。国を発展、技術を進歩、ノーベル賞 etc、教育は無償が当然。 自己責任、財政破綻論、日本人はいいかげん変わるべきだと思います。
130	奨学金という聞こえはいいが、実際は借金なので名称を変えるべきだと思います。
131	借りなければ地方の大学で一人暮らしをしながら通うのは、家庭によってはできない。将 来必ず返すということを念頭において自己責任で借りればよい。
132	学部生のときの無利子（第一種）の採用が少し厳しいと考えます。世帯年収だけでなく、 入学後の成績が優秀なら第二種から第一種に移行できるといった制度が充実するともっ と良くなると思います。
133	大学に進学すべきだと思うのは、日本がまだまだ学歴がかなり大事な文化だと思うから である。その文化がなければ、本当に学びたい人だけが奨学金を使ってでも行くべきか取 捨選択すればいいと思う。その中で給付ではなく貸与であることに問題は感じない。
134	家庭環境による教育格差は、本人の責任ではないため、給付型奨学金のハードルは下げて もよいのではと思う。（地方と都市部の教育格差も同様に思う）
135	進学の助けになる有益な制度だと思う
136	返済が滞ると債券会社から連絡がくるので怖い。貸与に対するだけの就職が出来ないた め苦しい。
137	理系女子だけ奨学金優遇は不公平に感じました。（学生時代） リカレント教育の流れで、社会人向けの奨学金制度も充実してほしい

138	数十年単位での返済は結婚や失業時に大きなリスクとなり、額面以上の負担になっています。この先少子高齢化の抑制、若者の活躍支援について、奨学金が大学進学→大手企業への就職にどうしても必要となっている構造は是非変革すべきものとなっていますので、有効な対策となる政策の提言、実行をお願いします。
139	大学で学んで将来にどう活かしたいか、しっかり自分の考えを持った人のみ大学で学ぶべきだと今は考えています。
140	昔の学費が安かったので充分返還できる額だったが、今は高額なので返還が大変だと思う。奨学金がもらえる、優秀な学生なら給付にしてあげた方がよい。
141	返還時に働ける世の中であれば良いが、働けない時代になっていると子供も親も不安です。
142	借金してまで高等教育を受けるべきかについてはニュートラルであるが、やる気のある若者の負担を軽くしたいと思う。将来的な国力に関わると思うので。
143	名称を「学生ローン」にするなど、借金であることを分かりやすくした方がよい。給付型にするのであれば、大学及び学生の質の向上を同時に行った方がよい。
144	国公立に絞ってでの貸与型奨学金は充足必要があると思う。
145	免除職だったので、10年勤めて免除になりました。将来国のために役立つ人なのだから昔のように免除してほしい。
146	教育費が高すぎる。
147	今、高校が無償化になりましたが、私のときは有償で奨学金を借りて入学しました。今、その返済をしています。少し納得がいきません。
148	奨学金という名前が「借金」という意識を薄れさせる。その結果、高額な借り入れをして後々苦しくなる。借りる本人にしっかり金額等のリスクを説明すべき。
149	より真剣に学業に励むように試験を実施し、それを通った少数の人のみが給付型の奨学金をもらえるようにすべきだと思う。
150	給付型の奨学金も受給できたため、日本学生支援機構への返還の負担感は減っているが、そうでなければ、かなりの負担と考える。努力する人、できる人にもっと給付型奨学金受給のチャンスを設けてほしい。

奨学金を利用しなかった人	
1	教育の公平性を保つためには、格差社会を是正し、国民すべての経済の均衡を図り、家庭経済、教育費の保障を担保すること。
2	教育格差を是正させる為に国が大きく関与すべきだ。
3	奨学金の使い方の問題がある時があると思う

4	奨学金が余裕で返せるくらいに給料が上がる社会になってほしい
5	国公立大学の卒業者は学費 5 割返還、成績優秀者は学費 8 割返還とかどうでしょう？
6	私は制度を利用しなかったのですが、自身の子供の時は必要だと思っています。その時に、社会人になっても返済し続けられないといけないのはかわいそうですし、私自身子供に申し訳ない気持ちを抱くと思います。学びたいという前向きな気持ちを金銭的な負担で諦めなくていいような社会を望みます。
7	教育にある程度お金がかかるのは致し方ないと思います。
8	本人の希望に応じた勉学の機会と支援の枠組みを国が保障すべきである。
9	給付型奨学金の拡充をよろしくお願いします。
10	大学全入時代には反対。ボーダーフリー大学を速攻廃止するべきだと思う。学生も大卒の肩書きのために学費を払って 4 年のモラトリアムをもらっただけになっている。
11	制度の見直しには賛成です。しかし、本当に学びたいことがあるけれども、学費が原因で進学や入学を諦めざるを得ない方々のための制度にして欲しいです。一律無償化のようなことが本当に良いかは考えていただきたいです。
12	高校、大学は無償化にして優秀な若者を育成させないと、海外の先進国に負けてしまい、日本の価値の低下につながると思います。
13	経済的な理由で進学を諦める状況や返済が負担になる現状は改善が必要だと思う。ただし、高等教育を全員が受ける必要はなく、現状は大学が多すぎる。少なくとも学業が優秀もしくは学びたいことが明確な若者が進学できる環境が必要。
14	家庭の経済状況に関わらず平等に教育を受けることができるようにするべきだと思う。無償化または経済状況に応じた学費を設定すべき。 大学等の高等教育においても経済的理由で教育が受けられないことはあってはならないと思います。
15	借金してまで大学へ遊びに行く必要は無い。 返済の目途が無い借金はすべきではない。
16	経済的な理由で進学を諦めなければならない人は考慮が必要だと思いますが、少子化が進む中、人気のある大学への進学希望が集中し、人気のない大学は生徒が集まらず存続の危機があるとも伺っています。総合的に統合、合理化を進めることを推進する機関の機能が必要だと思います。
17	高学歴であれば就職後の収入は多くなるので、奨学金を返還しても高卒よりは収入が多いはず。個人の収入を増やすために税金を使われるのは納得できない。
18	公的な奨学金（第 2 種）に関しては返済の際の利子負担はかからないようにするべきと考えます。国の制度であるのにもかかわらず利息をとる理由がわかりません。

19	<p>大学時代の知人は、奨学金を多く借りていました。本人の頑張りによって、大企業に就職できたが、数年に渡り、ボーナスを全て返済に投じて、やっとの思いで返済したようです。返済は終わったが、奨学金という選択肢を容認した母親に対して、不信感があるようです。</p> <p>奨学金は、場合によっては家族との関係を悪化させるものであると感じました。一方、私は、親が大企業勤めということもあり、学費に関して苦労はしませんでした。勉学に打ち込むことができ、大学院も卒業できました。知人に対しては、後ろめたさがありました。親の年収に関係なく、大学・大学院に通える世の中にするべきと考えています。</p>
20	<p>在学中の大学運営や社会奉仕活動など、卒業後の金銭返済以外の形の返済とを選択可能な制度があってもよいのではないのでしょうか？</p>
21	<p>私自身、利用したことのある制度ではないが、よく返済に困るとは耳にしたことがあります。ゆくゆくは大学も無償で教育を受けられることになれば、少なくとも家庭の賃金格差で子供の教育格差は是正されると思うので、教育無償化まで視野に入れて、議論いただけますと幸いです。</p>
22	<p>特になし</p>
23	<p>もうすぐ子供が大学性受験になります。二人子供がいて下の子が私立の高校になってしまったときなど、ふたり分の大学学費が出せるか不安でしかありません。</p> <p>塾代も高く、お金を貯めることも難しいです。</p> <p>学びたいと思っても学費面で諦めている子はたくさんいます。</p> <p>学びたいと思っっている子の芽をつぶさないで欲しいです。高すぎる大学費用。</p> <p>何とか改善していただきたいです。</p>
24	<p>経済力のある家庭は塾にも行き、公立大学へ入学でき、学びたいが塾など負担になっている学生が私学を目指すことになり、ますます差が開く気がする。しかし、国際社会での大学の順位なども気になるところで、学びたい人、より伸ばしたい人など様々な対象者に対して少しでも役立つ制度にしてほしい。</p>
25	<p>親の経済力と地域差により、大学への進学率が大きく変動すると実感している。</p> <p>地方でも偏差値の高い大学や、授業料の壁を排除して頂けると日本の学力が上がるのでは無いでしょうか？</p> <p>学力低下が進んでいると思いますが、国策として対応すべき案件だと考えます。</p>
26	<p>昔、職場に配属されてきた新人がやる気もなく仕事を覚えようとか積極的な姿勢が見えず3年で退職した人がいた(大学に戻っらしい)が退職間際に「3年働けば奨学金を返さなくてよいから」ということが判明した。育てようとしていた先輩や上司がむなし。奨学金は良いと思うが、奨学金を返さなくてよくするためにとりあえず働く(やるきなし)は迷惑でしかなかった。</p>

27	子どもの学費を奨学金制度を利用して借りているが、将来進むべき道にきちんと進めているのか分からない状態で、借入金のみ増えていく（4年間）ことに不安を感じる。今後、きちんと定職に就き返済できるのかが不安です。
28	勉強したい意思があるにもかかわらず、成績で奨学金の利率などが変わるのはある意味仕方ないかもしれないが少し考えさせられるものがある。
29	奨学金のメリット・デメリットについては、大卒の一般的なキャリアプラン含め高校の段階で指導した方がいいと思う。
30	自分の子供に利用させていますが、心が痛みます。申し訳ないなど。もう少し負担が少なくなればいいなど、思います。大学(私立)・高等学校(私立)でも学費が高いため、子供の選択枠が狭くなります。
31	これから子どもが大学に行きますが、とても授業料が高くビビっています。早く無償化にして欲しいです。
32	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し簡単にわかりやすく返却金も収入等に合わせ調整すべき。 ・大学の学費も本人一部負担にして学費を下げすべての人が選択出来る様にする。
33	私自身は、奨学金制度を利用していなかったが、周りの友人は利用している人が多く、卒業後に、ローンを返済するのが大変でお金が溜まらない、人にお金を借りているなどの話を聞く。私は親に感謝だなあと感じながら、大学に行くことは、人生で必要なことだと思うので、みんなが大変な思いをすることがなく、大学へ行ける制度があればいいと思う。
34	奨学金の返済に縛られ、結婚や出産、ブラック企業からの脱却をあきらめる人が増えている現状は、良くないと思う。もっと公的な支援があれば、救われる人も増えると思う。
35	給付額を選択できるので良かった(友人より)
36	<p>周囲の友人は奨学金をかりている人も多く、働きはじめてから返さなければならないと不安に感じている人もいました。</p> <p>色々な種類の奨学金があるかと思いますが、大学で学びたいと考えている学生が将来的にも負担にならないような制度があれば、学ぶ人も不安なく勉強できると思います。</p>
37	<p>大学無償化、奨学金の給付化については、学ぶ意思が低い者でも利用することができ、それらの対策で支援したとしても日本の教育レベルの向上にはつながらないと思う。</p> <p>上記 2 つの対策よりも、本当に学びたいのにお金の関係で高等教育を受けられない人達の支援を強化した方が良いと思う。奨学金も 1 つの手であると思うが、この制度を使うことで、本来の目的である勉強よりも、将来返済するお金を少しでも減らそうとアルバイトに暮れる者を実際に見たので、それでは本末転倒であるように思った。</p>
38	<p>日本は、子どもの教育を親に押し付けていると思います。ほかの国みたいに、子どもは国で育てていくべきでは。</p> <p>いろんな可能性を秘めた子どもたちを潰したくないと思います。</p>
39	高校は義務教育ではないが未成年者が利用するため無償化に賛成。

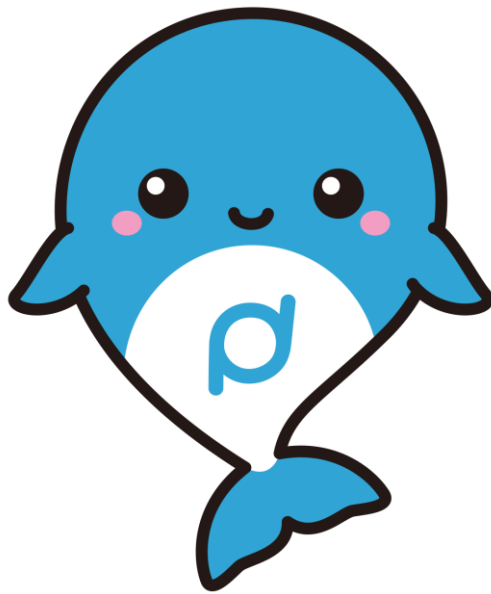
	今後、大学は成人年齢が対象であり、学費の軽減は必要だが、無償化には反対。
40	将来設計が不十分、卒業後就職していない状況で返済に苦勞しているニュースをよく見かける。 進学、教育は重要だが、「安易に進学」ではなく相談の機会があればいいのではと感じる。
41	特になし
42	特になし
43	コロナで充分大学で授業が行えなかったのに、授業料そのままではおかしい
44	学びたい人が金銭面での負担を苦しんで学びを断念することがないような国になってほしいと思います。
45	無利子にするか、有金利でも完済時に利子分を提供する
46	一律に大学の学費を無償化するのではなく、学びたいけど、学べない学生にターゲットをしばって、所得制限や成績要件を設けた、給付型奨学金を拡充すべきと考えます。
47	一般家庭では奨学金がないと大学に行けないのが現状。 世帯に子供が多ければなお親の負担額は増え、奨学金に頼るしかない。 お金がなくて大学に行けない、大学に入ったものの奨学金だけでは不足する分を稼ぐ必要があり、バイトに時間を費やし本来の目的であった大学での勉強ができない。 授業料を全額無償化とは思わないが、家庭状況によって一部負担してもらえる制度があればと思う。
48	海外では、奨学金は返せる人だけでいいみたいです。それが日本人や日本の文化に合っているのかは分かりませんが。自分の将来のために学校に行くのに、卒業したとたん学費を払うために将来が費やされ、自由やゆとりが無くなるイメージです。現在の日本では、なんとなく大学に通う生徒も多い印象ですが、奨学金制度が大学卒業後の生活にどれだけ影響を及ぼすのかをしっかりと生徒や保護者に伝える必要があるのではないかと思います。
49	受給者の収入によりある程度返済(利息・返済期間)を柔軟に変更できる制度が望ましいと考えます。
50	就職先を決めるのも困難である中、掛かる費用が大きすぎて返済が困難になるのは目に見えて明らか。学費自体をもう少し抑えられることが望ましい。
51	学びたくても学費が払えない(払っていくのに生活に不安がある)という話は周りでも聞くが、将来の返済の事を考えると奨学金を借りるのもためられる。 借りやすく、返済に関してももっと学生(その家族)にとって利用しやすい物にならないかと思う。
52	小学・中学の外国籍の子供達への教育サポートが、滋賀県は0です。 他県では取り組みがあるので、全体的に学びの奨学金とするのはどうでしょう。 大学だけに限定せずに。

53	返金するのに時間がかかったりするので、利用したくない。
54	給付型にしてほしい。
55	高等教育を受けさせたいが、経済的な負担に無理があると判断し、高卒で就職している方が周りに沢山います。学びたい気持ちの高い子どもたちが、進学を気軽に選べる世の中になればありがたいと思います。
56	制度の見直し、改定を行ってほしい。
57	家族の年収関係なく、本人の意志で制度が利用できたら良い。
58	条件に応じて給付型と貸与型の両方が必要
59	給付型の枠をもっと増やしてもいいと思うが、Fラン大学には必要ないと思う。
60	奨学金を利用し、大学を卒業したとして、卒業後に返還する事がとても重荷になると思います。結婚などで世帯を持った場合にも、生活+返還となってしまう、経済的にも大変苦しくなると思います。 その子供達にも間接的に影響が出て負のサイクルになると思います。頭が良ければ、何の問題も無いと思いますが・・・
61	義務教育でない時点で奨学金制度の事だけ話すのも考え物かと思った。
62	特に無し
63	奨学金が将来負担になることで大学進学を希望する人が教育を受けられない状況にしたくない一方、大学まで無償化をすると必要以上に大学進学者が増え、ただ大学卒になるためだけに進学する学生が増えないか、心配だと思った。(大学で勉強するという本分を見失わないか)
64	現在子供(大3)が日本学生支援機構(2種)を利用しています。(次女は返済完了) 本人が大学に行きたいのであれば、借金してでも大学に行った方が良いと思うし、勉強する意欲がある子供には無利子、返済不要などあれば良いと思うが、だれもがただで大学に行けるとなると、あそぶ人間の分まで税金で負担っていうのはどうかと思います。 子供を持ったのなら、親としての努力も必要と思うので。
65	大学に進学することによって仕事の幅が広がることは、実際にあることなので、進学を希望する人は進学できる制度の方が良いと思う。一方で、大学での学びが意味のあるものになっているとは限らず、遊んで過ごす4年間に税金を使う必要はないとも思う。
66	早急に教育費を無償化すべきだと思います
67	進学を希望する人が、経済的事由で進学をあきらめる事なく進学できる社会になって欲しい。ただ、公平性は保って欲しい。
68	無利子もしくは給付型をもっと増やすべき
69	制度がわかりにくい
70	賃金が上がっていない現状で、学費や物価が上がると生活が苦しくなる。

71	<対象を厳選>本当に高等教育を受けて社会に役立つ人になりたいと思っている意欲のある学生には国としての施策は必要だと思うが、一定水準に満たない学力の学生にまで優遇する必要はない。給付でなく優秀な人には特待生制度を活用してもらえればいい。
72	国立大学だったので、学費は安い方だったが、4年間で数百万となると、その後の人生への影響は大きいと思うので、負担が小さい制度になるとよいと思います。
73	所得制限を廃止するべき。
74	学費が高く、政府も高等教育に関心が低い。これからの日本を背負う人材を育てる必要性は非常に重要だ。奨学金制度の充実と家計の負担を軽くする政策をどんどん推進してほしい。
75	借入金額を制限する必要があると思います。
76	親が共働き中流家庭で無利子型奨学金が受けられなかった。家のローンがあり裕福でもなく、子どもに負担がいくのはおかしいと思う。
77	私自身は奨学金を利用しませんでした。息子が返済中です。今後結婚を控え負担になるのでは？と親として心配です。(有利子)せめてすべての奨学金が無利子で借りられる制度になるとありがたいと思います。もう一人息子がいますので、進学となると早急に良い方向へお願いいたします
78	大学だけでなく高校、専門学校等の奨学金も考えてほしい
79	若い世代の賃金が減り続けている中、過去と同じような返還条件は厳しそう。時代に合ったプランを作ってほしい。
80	国が赤字になり税金が増える事はやめてほしい
81	借金をしてまで高等教育を受ける必要はないと思います。
82	家庭の事情・金銭的な部分で進学に進めない人たちが沢山いると思います。その場合、学校それぞれの金銭部分を見直してもらいたい。例えば推薦の方は授業料無償等。
83	学びたい人への補助はあればあるほど、ありがたいと思う
84	高等教育への支援は世帯収入に応じた形にするべき
85	私学の学費は自己負担すればいいと思うが、国立大の学費はもっと給付のレベルや金額を上げて、より大勢が学べるようにするべき。
86	教育無償化が望ましい ワークシェアリングが進んで、職にあぶれる人(返済に苦しむ人)が減り、過度の残業に苦しむ人が減るのが更に望ましい
87	学力レベルの高い学校や生徒には国の支援で全額負担してもいいのでは？ 研究費も欧米なみに予算化すべきでは
88	給付型にする場合、成績など一定の制限をかける必要がでてくると思う。
89	ここ数十年で国公立大学の学費も私立大学並みへ引き上げられ、学生への負担が非常に高いように思う。国公立大学へは公的な資金を投入して、適正化が必要だと思います。

90	教育幅の拡張のため多額の支援を期待します。
91	教育費の負担軽減は、ほとんどの少子化対策より価値がある。 親にお金を渡さず、子供に直接投資するような制度を増やしてほしいです。
92	家庭の経済格差が連鎖する社会が良い社会とは思いません。貧しくても教育を受ける権利を十分に確保することが大切だと私は考えます。
93	勉強したい人には必要だと思いますが、「大学に行きたいだけ」の人には不要と思います。
94	授業料が高いためこのような問題が起こると思います。もっと安くなれば良いと思います。
95	基本的に家庭の経済力に左右されないよう、教育を受ける機会は学生には公平にあるべきと思います。
96	親の収入で決めるべき
97	最近国公立大学も学費が高い為、奨学金は給付型制度にすべきだと思う。
98	奨学金を貸して意味ある大学なら行くべきだと思う。だが、なんとなく行く人間に必要ない。
99	奨学金制度自体は良い制度と思いますが、返還の負担をご本人がイメージできるような説明が重要と思います。
100	大学の学費は非常に高いと思っている。払った額に対して、学生への還元は少ないと考えている。また学費の負担を軽減し、今までできていた研究ができなくなったりしなのかも心配である。
101	将来のことを考え親の意向により奨学金制度は利用しませんでした。お金がなくとも大学には行くつもりで奨学金も利用するつもりでした。より良い制度になればなと思います。
102	お金の問題で学びたいのに学べない学生がいることは不条理に思います。学びたい人が学べる社会になることを強く望みます。
103	成績が優秀など免除のしくみの拡大でよい。 または条件の良い仕事(勉学に関する仕事、奨学金返済にあてるならば給与が倍等)何かの成果に対して返済が軽くなる仕組みがよい。
104	特になし
105	子ども一人あたりにかかる費用がぼう大の為、少子化が進んでいると思う。改善をお願いします。
106	親族が今年大学生になった時に奨学金を利用。自分が保証人になりました。家庭の経済力の差は大きいなと思います。
107	国公立大学は無料化にし、私学は収入によって奨学金の種類を変えたらいいと思う。
108	無償化とは言わないが、半額ぐらいは国からの助成がほしい
109	子どもを通わせていたが、コロナ禍でほとんど行っていなかったのに学費を100%支払っ

	ていた。このような場合は授業料を見直すべき。奨学金側からプッシュしてほしい。
110	無利子のものを増やすとよいと思う。
111	経営的な理由で学ぶことが出来ない方は多いと思う。生きることが優先になるのでしかたがないかもしれないが、年齢に関係なく制度があれば良い。
112	高校時代には奨学金についての知識がなく知っていたら大学へ行きたかったと思います。娘には奨学金を借りましたが、結局親が返済することになりました。全額負担とは思いませんが、一部でも無償で負担いただけたらと思います。
113	大学へ行くことが正だとは全く思いませんが、学びたいと思うけどお金がないという人達に学びの機会を与えてくれるのは良いことだと思います。無償で学ぶことができれば良いとは思いますが、世の中はお金でまわっていてそうはいかないと思います。奨学金を使用せず大学に行かなくてもすばらしい人生を送ることはできるのではないのでしょうか。
114	給付型の奨学金制度が増えると良いと思います。
115	学びたいのに学べない人への支援が必要（格差軽減）
116	学費や教育費の負担が大きいため子供をつくらうと思わなくなる。
117	親が払うべき。大学資金は親が貯蓄すべき。
118	大学の無償化を進めるべき。奨学金のリスクが非常に大きいため貧困が生まれると思います。
119	「奨学金」この言葉はおかしい→「借金」とするべき。
120	貸与型の奨学金は、名前は奨学金といいが単なる学生ローンにすぎない。返還内容をよく知らずに借りて返還に苦しんでいる人も多いので、貸与型は廃止すべきだと思う。
121	奨学金制度より高等教育の学費そのものの見直し等をしてほしい。
122	全ての子どもに教育の機会を
123	2人子どもがいるので、奨学金制度を使えるなら活用してみたいです。
124	子ども3人を大学に進学させた。奨学金はとてもありがたかったが、返還するのに率が大変高くかかる。元金だけを返すようにしてほしい。
125	卒業しても返済していくことが、かなり本人の負担になると思います。人材育成の面から考えても奨学金は貸与ではなく給付にすべきだと思います。
126	新型コロナの影響で学費を払えず学校をやめざるをえない学生を救ってほしい。
127	絶対に給付型にすべき。大学まで授業料無償化すべき。どちらかで対応するべきだ。



一般社団法人

滋賀県労働者福祉協議会（滋賀県労福協）

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 2-1 コラボしが 21 6 階

電話 077-524-6260 FAX 077-523-4070

URL <https://s-rofuku.com/>